

国語

第4学年

育成を目指す資質・能力

【主体性】【思考力】【自己理解】

「くらべてなっとく!『和』と『洋』」

教材文「くらしの中の『和』と『洋』」

【単元の概要】

児童は、「くらしの中の『和』と『洋』なるほどブック」を作ることを目的として、生活の中の「和」と「洋」のものの中から、比べるものと比べる観点を決め、図鑑や事典を調べ、必要に応じて文章を引用したり要約したりして、「くらしの中の『和』と『洋』なるほどブック」を作ります。さらに、各自が作ったブックを交流することを通して、「和」と「洋」それぞれのよさや違いに気付いていきます。

◆単元の目標

読み取ったことを基に、「和」と「洋」を比較しながら、理由や事例を挙げて文章を書くとともに、調べたことを紹介したり自分の考えを述べたりするために、文章の必要な部分を引用したり要約したりすることができる。

◆単元の計画（全13時間）

【課題の設定（1時間）】

- ・くらしの中の「和」と「洋」クイズを行い、「和」と「洋」の違いに関心をもつとともに、「くらしの中の『和』と『洋』なるほどブック」を作るという学習のゴールを確認し、必要な学習活動や単元で付けたい力について考える。

【情報の収集（7時間）】

- ・教材文の段落構成を捉えることで大まかな内容を把握するとともに、「和室」と「洋室」の過ごし方や使い方の観点で比較することにより、よさや違いを見付け、それぞれの特色や利便性を理解する。
- ・「和室」と「洋室」のよさや違いについて、ブックに表すために、自分の考えを例示するための必要な部分を、教材文から引用したり要約したりしながらまとめる。
- ・自分の生活や体験を振り返り、「衣食住」の中からブックに表したい課題を決め、図鑑や事典を活用して調べ、「和」と「洋」を比較するための根拠となる理由や事例を収集する。

【整理・分析（1時間）】

- ・「和」と「洋」の題材を決めて収集した情報を、事例を挙げながら、よさや違いの観点で、マトリクス表に整理する。

【まとめ・創造・表現（3時間）】

- ・「和」と「洋」のそれぞれのよさや違いが分かるように事例や理由を挙げながら要点をまとめ、ブックに表す。
- ・完成したブックを友達と交流し、それぞれが見つけた「和」と「洋」のよさや違いを交流するとともに、友達のものを見方や考え方の違いに気付く。

【振り返り（1時間）】

- ・単元全体を振り返り、「和」と「洋」について考えることを通して、自分のもの見方や考え方の変容や、ブックづくりを通してできるようになったこと、今後に生かしたいことを考える。
- ・「くらしの中の『和』と『洋』なるほどブック」コーナーを、校内（図書室など）に設置し、教職員や全校児童や保護者に紹介する。

その他の主な開発単元

教科等	学年	単元・題材名
国語	1	「夏休みの思い出発表会をしよう」～はなしたいな ききたいな～
	1	「オリジナルじゃんけんであそぼう」～じゃんけんやさんをひらこう～
	2	「遊びのやくそくを話し合おう」～みんな遊びを決めよう 2組がもっとなかよくなるために～
	3	「伝えたい瀬野川の魅力」～案内の手紙を書こう～
	5	「4年生や5年生に委員会活動を伝えるリーフレットを作ろう」～伝えよう、委員会活動～
	6	「南小体力アップ 大作戦!」～資料を生かして呼びかけよう～
	6	「文章を読んで考えたことを先生たちに伝えよう」～イースター島にはなぜ森林がないのか～
総合的な学習の時間	3	わたしは まちの ものしりはかせ ～遊んで 食べて 調べて 楽しい瀬野川～
	3	みんなえがお「南小ふるさと館」を作ろう!
	5	海田のお米再発見!～われら お米アピール隊～

海田南小学校「課題発見・解決学習」HP アドレス

<http://kaitaminami-e.ed.jp/learninginnovation/index.html>